

琉球大学学術リポジトリ

南北大東島の蛾相について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東平地, 清二, Higashihirachi, Seiji メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015100

南北大東島の蛾相について

東 平 地 清 二 (1)

(琉球植物防疫所)

1. はじめに

南大東島は面積31km²、周囲20.69km、北大東島は面積11.7km²周囲13.5kmで、両島とも沖縄本島の200マイル東方、小笠原諸島の西方600マイルの太平洋上に6マイルを隔てて浮ぶ孤島である。島は隆起珊瑚礁よりなり、略楕形円を呈し、高さ30~40mの低い島で、海岸には入江なく、10~30mの断崖により取り囲まれている。島内は概して平垣であるが略二条の岩礁帯が環状に取り巻き、その部分には、リュウキユウマツ、ピロウ等による樹林帯が形勢されている。

現在島の殆んどは開墾され、さとうきびの栽培が盛んであるが開墾前は「断崖登りて右顧左視すれば草木うつ蒼として往々岩石の屹立せるを見る外、土色の何れあるやを知らず、内部に入れば満面コバ樹(ピロウのこと)を以て覆われ、また稀にガジュマル、ウスク、アキナクロ、フジ、アダン 其の他 雑木繁茂して藪中昼 尚暗し」の状態だったようである。1900年(明治33年)頃より島の開墾が始められ、大正12年頃より沖縄本島を始め、八丈島、台湾、小笠原諸島、奄美大島から多種の植物が大量に輸入され、現在特異ある植物相が形成されている。そのことは地理的にも珍らしいこの地域の昆虫相に極めて興味のある関係をもたらししているものと思われる。

筆者は1961年春両島を訪れ、昆虫採集の機会を得ると共に大東糖業株式会社の金城良守氏の御協力で今までに相当数の昆虫標本を調査する機会に恵まれ、大東島の昆虫について基礎的知識を得ることができたのでこの機会に手始めとして今までに南北大東島から記録されたことのある蛾類並びに二、三の採集品に基く蛾類目録を作成することにした。この小文が遅れている琉球列島の蛾類調査の一助となり、大東島の昆虫相解明の糸口にもなれば私のもっとも喜びとするところである。

尚本文をまとめるに当って同定や文献その他種々御教示を頂いた東京農業大学の井上寛博士、琉球大学の高良鉄夫博士、日本蛾類学会の杉繁郎氏に深甚なる謝感を表す。また採集に当って種々御協力下さった大東糖業株式会社の浜元栄吉、新里福次郎、稲福清彦、金城良守の諸氏に厚くお礼申し上げます。

2. 南北大東島の蛾類に関する研究略史

大東島の蛾類に関する記録は甚だ少なく、その研究は竹崎(1936)の記録に始まり江崎(1936)が北大東島在住の医師後藤素夫氏採集の標本に基きフヂマメトリバ、シロオビノメイガ、マメノメイガ、イネヨトウ等19種を新たに記録したことにより北大東島の蛾は21種を数えるに至った。

屋代は1931年5月に南大東島で採集を行い、その後江崎竜雄、塚田考美氏等の採集品に基き1939年に目録をまとめたがそれには9種の蛾類が含まれて居り、うちカンシヤシンクイハマキ、ツマキシロメイガ、ナロジロシタバ等6種は新しい記録である。屋代はその目録の中で移入されたと思われる昆虫についてはその旨を附記し、害虫被害についても言及し、研究上の足がかりを作った。

次いで楚南(1940)は柳原政之氏から1939年2月19日から3月10日の間に採集した蛾類39種を目録に挙げたがそのうち30種は新しい記録であり、イラクサキンウバ、クサシロキヨトウ、ワタリング等18種は琉球新記録種である。

その後第二次世界大戦中は殆んど研究の成果なく高良(1958)の目録が久しぶりに4種の蛾類を挙げた。屋代、坂口、安座間(1959)等も3種を目録した。杉(1962)は琉球産ヤガ科に関する過去の記録を整理し、当時における完全な目録を作成し、蛾類調査の基礎作りをした。東平地(1962年)は、1960年2月より3月にかけて南北大東島において採集を行い、また金城良守氏の協力で得た標本に基きヤガ科の採集品目録を発表し、16種のヤガを南北大東島から新らしく記録した。

3. 南北大東島産蛾類目録

Sphingidae スズメガ科

1. *Herse convolvuli* Linne エビガラスズメ
Herse convolvuli 江崎、1936:42(北大東島) 楚南、1939:130(南大東島); 屋代、坂口、安座間、1959:298(大東島)。
2. *Macroglossum pyrrhosticta* Butler ホシホウジャク
Macroglossum pyrrhosticta 江崎、1936:42(北大東島); 楚南、1940:377(南大東島、北大東島)。

3. *Theretra alecto* Linne シタバニスズメ
Hippotion celerio 屋代、1939:130 (南大東島)。
4. *Hippotion boerhaviae* Fabricius ヒメシタバニスズメ
Hippotion boerhaviae 屋代、坂口、安座間、1959 : 298 (大東島)
5. *Theretra pinastrina* Martyn イツボンセスジスズメ
Theretra silhetensis 江崎、1936:42 (北大東島)。
Nolidae コブガ科
6. ※※²⁾ *Celama taeniata* Snellen クロスジシロコブ
Celama candida 江崎、1936 : 42 (北大東島)
Arctiidae ヒトリガ科
7. ※※ *Eilema herishanella* Matsumura ホリマエホソバ
Lithosia herishanella 江崎、1936:42 (北大東島)。
8. ※※ *Eilema vicaria vicaria* Walker タイワンマエキホソバ
Lithosia vicaria vicaria 楚南、1940:377 (南大東島)。
9. ※ *Eilema depressa paveszens* Butler ムジホソバ
南大東島1♀、27.11.1960
10. *Nyctemera lecticinia* Cramer ツマキモンシロモドキ
Nyctemera lacticinia 竹崎、1936:87 (北大東島);
江崎、1936:42 (北大東島); 屋代、1939:130 (南大東島); 楚南、1940:377 (南大東島)。
11. *Nyctemera secta* Walker シロハラモンシロモドキ
Nyctemera seata 楚南、1940:377 (南大東島、北大東島)。
Aganaidae ヒトリモドキガ科
12. ※※ *Asota vicaria* Walker タイワンキシタヒトリモドキ
Asota vicaria 楚南、1940:377 (北大東島)。
13. *Asota egens* Walker キイロヒトリモドキ
Asota egens 屋代、1939:130 (南大東島); 楚南、1940:377 (南大東島)。
14. *Asota alciphron alciphron* Cramer キンタヒトリモドキ
Asota caricae caricae 竹崎、1936:87 (北大東島);
江崎、1936:42 (北大東島)。
幼虫は *Choaspes benjaminii japonica* アオハセセリによく類似し、クワ科 *Ficus* sp. のを食する。
- 2) 目録中※は南北大東島新記録、※※は他の琉球列島に産しない種である。
15. *Asota helionia riukiwana* Rothschild シロスジヒトリモドキ
Asota helionia 屋代、1939:130 (南大東島)。
Noctuidae ヤガ科
16. *Agrotis ipsilon* Hubnagel タマナヤガ
Agrotis ypsilon 楚南、1940:379 (南大東島)。
Agrotis ipilon 杉、1962:173 (南大東島): 東平地、1962:164 (Minami-daito Is.)
テンサイ、フタンソウの害虫である。
17. *Leucania consanguis* Guenee マメチヤイロキョトウ
Leucania consanguis 東平地、1962:164 (Minami-daito Is.)
18. ※※ *Leucania loreyi* Duponchel クサシロキョトウ
Cirphis loreyi 楚南、1940:379 (北大東島);
高良、1958:38 (大東島)。
Leucnia loreyi 杉、1962:174 (北大東島);
東平地、1962:164 (Minai-baito, Is.)
19. *Leucania striata* Leech スジシロキョトウ
Leucania striata 東平地、1962:164 (Minami-daito Is.)
Leucania では一ばん多く採れる種で燈火にも飛来する。
20. *Sesamia inferens* Walker イネヨトウ
Sesamia inferens 江崎、1936:42 (北大東島); 屋代、1939:130 (南大東島); 楚南、1940:378 (南大東島); 高良、1958:38 (大東島); 杉、1962:174 (北大東島、南大東島); 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
一般にムラサキメイテユウと呼ばれ、甘蔗の害虫で被害最も大である。屋代 (1939) は甘蔗苗と共に移入されたものであろうと記している。
21. *Spodoptera pectan* Guenee リユウキユウスジキリョトウ
Spodoptera pectan 楚南、1940:378 (南大東島);
杉、1962:174 (南大東島)。
22. *Prodenia litura* Fabricius ハスモンヨトウ
Prodenia litura 江崎、1963:42 (北大東島); 楚南 1940:378 (南大東島); 高良、1958:38 (大東島);
杉、1962:174 (北大東島、南大東島); 杉、1962:174 (北大東島、南大東島); 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
23. *Laphygma exigua* Hubner シロイチモジヨトウ
Laphygma exigua 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)

24. *Athetis placida* Moore リュウキウウスイロヨトウ
Athetis placida 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
- 25※※*Earias cupreoviridis* Walker ワタリンガ
Earias cupreoviridis 楚南、1940:378 (南大東島); 杉、1962:175 (南大東島); 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
- 26※※*Amyna octa* Guenee シロテンヒメコヤガ
Amyna octa 楚南、1940:378 (南大東島); 杉、1962:175 (南大東島); 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
- 27 *Xanthodes graellsii* Feithamel ヒトトガリコヤガ
Xanthodes graellsii 東平地、1962:166 (Minami-daito Is.)
- 28※※*Porphyria rivula* Moore
Eublemma rivula 楚南、1940:378 (南大東島)。
Porphyria rivula 杉、1962:175 (南大東島)
- 29 *Plusia agnata* Staudinger ミツモンキンウワバ
Plusia agnata 東平地、1962:167 (Minami-daito Is.)
- 30 *Plusia ni* Hubner イラクサキンウワバ
Phytometra ni 楚南、1940:379 (南大東島)。
Plusia ni 杉、1962:176 (南大東島); 東平地、1962:167 (Kitoo-dait Is.)
 幼虫はキャベツを食害するが多くない。
- 31 *Plusia ochreata* Walker コセアカキンウワバ
Plusia ochreata 東平地、1962:167 (Minami-daito Is.)
- 32 *Achaea janata* Linnaeus シラホシアシブトクチバ
Achaea janata 楚南、1940:379 (北大東島); 杉、1962:176 (北大東島)。
- 33 *Achaea serva* Fabricius オオシラホシアシブトクチバ
Achaea serva 楚南、1940:378 (南大東島); 杉、1962:177 (南大東島)。
- 34 *Cortyia grisea* Leech シロオビクチバ
Poydesma grisea 江崎、1936:42 (北大東島)
Cortyia grisea 杉、1962:178 (北大東島)。
- 35 *Remigia frugalis* Fabricius ウスオビクチバ
Mocis frugalis 楚南、1940:379 (南大東島)。
Remigia frugalis 杉、1962:178 (南大東島)。
- 36 *Aedia leucomelas* Linnaeus ナカジロシタバ
Anophia leucomelas 屋代、1939:202; 1940:231; 1941:142 (南大東島); 屋代、坂口、安座間、1959:292 (大東島)。
Aedia leucomelas 杉、1962:179 (南大東島)。
- 47 *Chalciope mygdon* Cramer スジボソサンカククチバ
Chalciope mygdon 東平地、1962:168 (Minami-daito Is.)
- 38※※*Grammodes geometrica* Fabricius ナカグロクチバ
Grammodes geometrica 東平地、1962:168 (Minami-daito Is.)
- 39 *Anomis lyona* Swinhoe コアカキリバ
Cosmophila erosa 楚南、1940:379 (南大東島)。
Anomis lyona 杉、1962:176 (南大東島)。
- 40 *Anomis* sp. オキナワオオアカキリバ
Anomis sp. (near *commada* Butler) 東平地、1962:168 (Minami-daito Is.)
- 31 *Hypocala* sp. ヒロオビクチバ
Hypocala sp. 東平地、1962:169 (Minami-daito Is.)
- 42 *Dichromia orosia* Cramer モンクロキンタアツバ
Dichromia orosia 江崎、1936:42 (北大東島); 楚南、1940:379 (北大東島); 杉、1962:180 (北大東島); 東平地、1962:170 (Minami-daito Is.)
- 43※※*Hypena indicatalis* Walker トビモンアツバ
Hypena indicatalis 東平地、1962:170 (Minami-daito Is.)
- 44※※*Bomolocha varialis* Walker
Bomolocha varialis 楚南、1940:379 (南大東島); 杉、1962:180 (南大東島)。
- 45※※*Simplicia robustalis* Guenee
Simplicia robustalis 楚南、1940:379 (南大東島); 杉、1962:180 (南大東島)。
- 46 *Simplicia* sp. オオアカマエアツバの近縁種
Simplicia sp. (near *niphona* Butler) 東平地、1962:170 (Minami-daito Is.)
- 47 *Simplicia subterminalis* Oraesch シロヘリアツバ
Simplicia subterminalis 東平地、1962:170 (Minami-daito Is.)
- 48 *Zanclognatha fractalis* Guenee オオシラナミアツバ
Zanclognatha fractalis 東平地、1962:170

- (Minami-daito Is.)
- 49 *Hydrillodes repugnalis* Walker ソトウスモンアツバ
Hydrillodes repugnalis 東平地、1962:170
 (Minami-daito Is.)
- 50※※*Hydrillodes lentalis* Guenee
Hydrillodes lentalis 楚南、1940:379 (南大東島)
Hydrillodes lentalis 杉、1962:18 (南大東島)。
- Lymantriidae** ドクガ科
- 51 *Euproctis taiwana* Shiraki タイワンキドクガ、
Porthesia taiwana 楚南、1962 : 337 (南大東島)。
- Heterogeneidae** イラガ科
- 52 *Iragoides conjuncta* Walker タイワンイラガ
Notoda conjuncta 楚南、1940 : 377 (南大東島)。
- Geometridae** シヤクガ科
- 53 *Hyposidra tolalae* Walker ミカンコエダシヤク
Hyposidra talalae 江崎、1962 : 42 (北大東島);
 楚南、1940 : 380 (南大東島)。
- 54※*Nycterosea obstipato* Fabricius トビスジヒメ
 ナミシヤク
 南大東島1♀、26.11.7960.
- Pyalidae** メイガ科
- 55 *Scirpophaga xanthogastrella* Walker ツマキオ
 オメイガ
Scirpophaga nivella 屋代、1939 : 130 (南大東島);
 高良、1958 : 37 (大東島)。
- 56 *Dioryctria abietella* Denis et Schiffer miiller
 マツノマダラメイガ
Dioryctria abietella 楚南、1940 : 380 (南大東島、
 北大東島)。
- 57※*Talange sexpunctalis* Moore ムツテンミズメイ
 ガ
 南大東島1♀1♂、27.11.1960.
- 58 *Bradina atopalis* Walker シロテンウスグロミ
 ズメイガ
Bradina atopalis 江崎、1936 : 41 (北大東島)。
- 59 *Margaronia itysalis* Walker イカリモンノメイ
 ガ
Margaronia itpsalis 江崎、1936:41 (北大東島)。
 南大東島※1♀、28.11.1960.
- 60 *Hymenia recurvalis* Fabricius シロオビノメイ
 ガ
Hymenia recurvalis 江崎、1936 : 41 (北大東島);
 楚南、1940 : 380 (南大東島、北大東島); 高良、195
 8 : 37 (大東島)。
- 61 *Maragosonia bivitalis* Guenee アコウノメイガ
Maragosonia vivitalis 江崎、1936 : 41 (北大東島)
Maragosonia bivitalis 楚南、1940 : 380 (南大東
 島、北大東島)。
- 62※*Diaphania indica* Saunder ワタクロヘリノメイ
 ガ
 南大東島1♂、27.11.1960.
- 63※*Diaphania phloalis* Walker ワクノメイガ
 南大東島、1♂、27.11.1960;1♂、6.IV.1960.
- 64 *Cnaphalocrosie medinalis* Guenee コブノメイ
 ガ
Cnaphalocrosis medinalis 江崎、1936 : 42 (北大
 東島); 楚南、1940 : 380 (南大東島)。
- 65 *Syllepta derogata* Fabricius ワタノメイガ
Syllepta derogata 楚南、1940 : 380 (南大東島)。
- 66 *Hellula undalis* Fabricius ハイマダラノメイガ
Oebia undalis 楚南、1940 : 380 (南大東島)。
- 67 *Maruca testulalis* Geyer マメノメイガ
Maruca testulalis 江崎、1936 : 41 (北大東島)。
- 68 *Nomophila noctuella* Schiffermuller et Denis
 ワモンノメイガ
Nomophila noctuella 江崎、1938 : 41 (北大東島)
- 69 *Lamprosema diemonalis* Guenee キオビノメ
 イガ
Lamprosema diemonalis 江崎、1936 : 41
 (北大東島)。
- 70※※*Lamoria adoptella* Walker
Lamoria adoptella 楚南、1940 : 380 (南大東島)。
 柳原氏によると、クロツグ及びビローの毛に大害をな
 すようである。
- Pteropharidae** トリバガ科
- 71 *Sphenarches anisodactylus* Walker フジマメ
 トリバ
Sphenarches coffer 江崎、1936 : 41 (北大東島)。
- 72 *Pterophorus monodactylus* Linne イモトリバガ
Steganadaetyla concurus 楚南、1940:38
 (南大東島)。
- Tortricidae** ハマキガ科
- 73 *Eucosma schistaceana* Snellen カンシヤシンク
 イハマキ
Eucosma shistaceana 楚南、1940 : 380 (南大東島);
 高良、1958 : 30 (大東島)。
 甘蔗の害虫でイネヨトウに次ぐ被害をもたらしオオシ
 ヨクメイチュウと呼んでいる。
- Gelechiidae** キバガ科

74※*Brachmia macroscopa* Meyrich イモキバガ

南東大島 1♀ 25.11.0.1960

Yponomentibae スガ科

75 *Plutella maculipennis* Curtis コナガ

Plutella maculipennis 楚南、1940：130（南大東島）

Tineidae ヒロズコガ科

76※*Monopis monachella* Hubner マエモンヒロズコガ

南大東島、2♀、1♂、28.11.1960

4. 要 約

本報告では南北大東島産蛾類に関する研究の概略を述べ、今までに両島から記録されたことのある蛾類の目録を作成し関係文献の所在を明らかにすると共に標本に基づき7種の新産種を記録した。

目録の蛾は計76種である。そのうち他の琉球列島から未発見のものは15種で、特産種の比率は比較的大きい。それは両島の地理的環境や植物の移入等によるものが大きく影響しているものと思われる。

今後この方面の研究が進めば害虫侵入経路の究明にも資する所があると思う。

5. 参 考 文 献

竹崎敏夫（1936）北大東島の昆虫（1）、自然と趣味

（福岡中学校博物研究会）vol, 6 No. 2.

P. 87-88

江崎悌三（1936）北大東島の昆虫記録（第1報）

Mushi vol. 9, No. 1, P. 40-43.

屋代弘孝（1939）南大東島の昆虫、*Biogeographica*, 3. 127-130

屋代弘孝（1939）甘藷害虫ナカジロシタバに就いて（第1報）、応用昆虫、1：202—215

屋代弘孝（1940）*Ibid*（第2報）応用昆虫 2：231—239

屋代弘孝（1940）*Ibid*（第3報）、応用昆虫、3：142—143

楚南仁博（1940）、柳原政久氏採集の大東島産鱗翅目昆虫、台湾博物学会会報、30：376—380.

高良鉄夫（1958）琉球甘蔗害虫目録、琉球糖業振興会報、第3号P.26—42.

屋代弘孝、坂口総一郎、安座間喜勝（1959）沖縄産動物目録、（昆虫類）P.290—296沖縄生物教育研究会那覇。

杉繁郎（1962）琉球から記録のあるヤガ科の目録、蛾類通信No.29.P.171—811.

東平地清二（1962）琉球産ヤガ科採集品目録、蛾類通信、No.29.P.163—170.

正宗敬敬 柳原政之、1941大東島の植物（1）、（2）、台湾博物学会会報、31：237—242；31：268—27.4